

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサークル大串（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日		～ 2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		～ 2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から児童の状況を保護者と伝え合い、児童の健康状態や発達の状況について、保護者との共通理解が図れている。	送迎時の引き渡しの際や連絡ツールを通じて、児童の状況や日々の様子について、保護者へ継続的に伝達している。	保護者との関係性をより一層強化し、保護者の悩みやニーズを丁寧に把握することで、児童一人ひとりに応じた支援へとつなげていく。
2	活動内容が固定化されないよう、職員間でアイデアを出し合い、日々の活動内容を計画している。	月ごとのイベントカレンダーを作成し、保護者へ活動内容等の周知を行っている。また、限られたスペースでも実施可能な活動となるよう、日々検討を行っている。	安全面にも十分配慮しながら、活動内容の計画および実施を行い、より質の高い療育活動の提供につなげていく。
3	療育スペースの整理整頓に努め、こどもにとって安全な環境を提供している。	生活空間の整理整頓や清掃に努め、こどもが心地よく過ごせる環境づくりを行っている。また、児童の活動内容に応じた配置等の工夫を行っている。	ヒヤリ・ハット報告等を活用し、環境整備についてより一層安全面に配慮した配置や、危険箇所の早期発見・改善に努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、また地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	地域や他のこどもと関わることを意図した企画が少なく、事業所内で行う活動が中心となっているため。	地域のイベントへ積極的に参加するとともに、地域を巻き込んだ活動を企画・周知し、交流の機会を増やしていく必要があると考える。
2	送迎の範囲に限られる場合、利用できる児童が限定されてしまう。	送迎エリアが広く、送迎時間内に移動できる範囲が限られてしまうため、すべての利用希望に対応できない場合があるため。	送迎ルートの最適化に加え、ICTの活用等を組み合わせることで、送迎体制の効率化と受入体制の拡充を図っていく。
3	定期的に避難訓練等、こどもの安全確保に関する取組を行っているが、その内容がすべての保護者に十分に周知されていない状況がある。	契約時の説明内容の不足や、実施している取組に関する情報発信の内容および方法が十分でないため。	事業所で行っているこどもの安全確保に関する取組について、ブログ等を活用して保護者へ積極的に情報発信を行う。また、より一層こどもの安全が確保できる取組についても継続的に検討していく。